

1. 科目名（単位数）	音楽（保育児童・社会福祉学部）（2単位）	3. 科目番号	SJMP1140 GELA1324
2. 授業担当教員	高木 麻衣子		
4. 授業形態	講義 演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	保育の現場や小学校教育において必要とされる、音楽の基本的な演奏技能と知識を習得することを目指す。具体的には、小学校共通教材（保育現場との共通曲）を中心とした弾き歌い、器楽アンサンブル、音楽づくりを学ぶ。		
8. 学習目標	1. ピアノの弾き歌いができる。 2. 鍵盤楽器や器楽アンサンブルに関心を持ち、演奏ができる。 3. 声や楽器や身体の動きを媒体として、グループで音楽作品を作ることができる。 4. 基礎的な音楽理論の理解ができる。		
9. アサイメント （宿題）及びレポート課題	①ピアノ実技：レベル毎に課題曲を提示するので、練習をし、次回対面授業までに弾けるようにすること。 ②音楽理論：ほぼ毎回単元別の練習問題を提示するので、疑問点や質問事項は必ず聞くこと。 ③中間のまとめ、期末のまとめを行う。 ④歌唱教材：1曲でも多くのレパートリーを持てるよう、「歌うこと」に積極的な姿勢で臨むこと。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 ①高木麻衣子著『一保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を目指す人のために一これ一冊で全てが分かる！ピアノ教本』カワイ出版 ②初等科音楽教育研究会編『最新 初等科音楽教育法[改訂版]小学校教員養成課程用』音楽之友社		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 1. 小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌いができるようになったか。 2. グループによる「アンサンブル」や、音楽づくりに積極的に取り組んだか。 3. 基礎的な音楽理論を理解し、説明できるか。 ○評定の方法 1. 日常の授業への取り組み及び意欲 総合点の40％ 2. 実技発表 総合点の40％ 3. 音楽理論の理解 総合点の20％		
12. 受講生への メッセージ	「ピアノが弾けるようになる」ことは技術の習得です。したがって、日々の鍛錬を忘れずに積み重ね、努力すると必ず弾けるようになります。自分を信じて取り組み、出来る喜びを分かち合いましょう。保育・教育に携わる皆さんが音楽の楽しさ、素晴らしさを次世代に伝えていける伝達者になって欲しいと思っています。熱心に取り組まれることを期待しています！ 弾き歌いでは、個々の技量にあった、より多くの曲に触れてほしいと思います。		
13. オフィスアワー	最初の授業時に提示		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業ガイダンス（シラバス説明・授業概要）、アンケート、演奏レベルチェック、課題曲提示	事前学習	鍵盤で“ド”の位置を理解しておくこと。
		事後学習	各自の目標（初級：音符と鍵盤の一体化、中級：楽譜に忠実に、上級：表現力のある演奏を目指して）を設定し、各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
第2回	ピアノレッスン 音楽の基礎知識①（音部記号・楽譜について）	事前学習	各自の目標及び各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽の基礎知識課題（音部記号・楽譜について）に取り組む。
第3回	ピアノレッスン 音楽の基礎知識②（音名・変位記号）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽の基礎知識課題（音名・変位記号）に取り組む。
第4回	ピアノレッスン 音楽の基礎知識③（音符と休符）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽の基礎知識課題（音符と休符）に取り組む。
第5回	ピアノレッスン 音楽の基礎知識④（拍子とリズム）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。

			習する。 音楽の基礎知識課題（拍子とリズム）に取り組む。
第 6 回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 音楽の基礎知識⑤（強弱記号、簡単な楽語）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽の基礎知識課題（強弱記号、簡単な楽語）に取り組む。
第 7 回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 音楽の基礎知識⑥（反復記号、装飾音符）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	中間のまとめに向けた復習をする。
第 8 回	中間のまとめ（ピアノ弾き歌いと実技発表） （音楽の基礎知識に関する筆記試験）	事前学習	中間のまとめに向けた復習をする。
		事後学習	各自、期末試験に向けての目標を設定し、それに向けて取り組む。
第 9 回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 筆記試験返却と解説	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。
第 10 回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 簡易楽器について	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 簡易楽器の取り扱いについて復習する
第 11 回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 合奏について①	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 合奏の各自パートを理解し、練習する
第 12 回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 合奏について②	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 合奏の各自パートを理解し、練習する
第 13 回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 合奏について③	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 合奏の各自パートを理解し、練習する
第 14 回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 合奏発表	事前学習	期末のまとめに向けた課題曲を練習する。 期末のまとめに向けた合奏についての学習を復習する。
		事後学習	期末のまとめに向けた課題曲を練習する。これまでに学習した合奏について復習をする。
第 15 回	期末のまとめ（ピアノ弾き歌いと実技発表）	事前学習	期末のまとめに向けた課題曲を練習する。
		事後学習	実技の復習、これまでに学習した音楽理論や合奏について復習をする。